

表. 調査結果概略

有効標本数	3712	1歳6カ月までの累積接種率	56.4 ± 1.6
有効回答率	74.2 %	2歳までの累積接種率	77.3 ± 1.3
ワクチン接種済	3210	3歳までの累積接種率	86.5 ± 1.1
ワクチン未接種	368	PI > 50 %となる月齢	1歳6カ月
接種歴不明	134	PI > 80 %となる月齢	2歳3カ月

## 2. 考察

日本全体の満3歳児から無作為抽出した3,712人の標本をもとに、現在の満3歳児が何歳何カ月の時点で麻疹ワクチンの接種を受けているかを図示したものがこの累積接種率曲線である。推計の精度は、誤差1.6%以下で予防接種率の指標として十分有用であり、国際的にも通用する値である。予防接種法による麻疹の定期接種が開始される満1歳から累積接種率曲線が立ち上がって、なだらかな曲線を描きながら満3歳では86.5±1.1%という値を示している。前述したように接種日不明の既接種者が多少加わることを考えても、満3歳で90%前後の累積接種率と思われる。表に示したように累積接種率が50%を越えるのは満1歳6カ月、80%を越えるのは満2歳3カ月であり、満2歳から満3歳までの1年間では10%未満の増加である。このグラフから現在の日本の満3歳児が麻疹ワクチンを受けている状況は以下のように予想できる。定期接種の対象となる満1歳から麻疹ワクチンの接種を開始しているが、1歳の誕生日を迎えてから1~2カ月以内に接種を受けている小児は30%以下であり、1歳6カ月で約半数、2歳で約8割が接種を終了する。ただし、2歳までに接種を受けない子どもの保護者は接種に対して積極的ではないようで、その約半数が満3歳に至るまでに接種を受けるに過ぎない。

日本の麻疹患者の約半数が2歳以下であることを考えると、さらに早い時期で予防接種を受けるように努力すれば、麻疹患者数が減少することが予想できる。視覚的にはグラフの立ち上がりが急峻になり、早時に100%に近づくことが理想的である。当面は累積接種率が生後18カ月に80%、24カ月に90%に達することを目標にして、例えば、満1歳に達したらずちに麻疹ワクチン接種を受けられるように1歳の誕生日前に通知を出したり、ポリオ生ワクチンの接種会場や1歳6カ月健診会場で接種を奨励するなどの努力が効果的であると思われる。

この調査方法には下記のような限界がある。第1に、満3歳児を後方視的に調査しているため、必ずしも調査時点での年齢別の累積接種率を表わしてはいない。たとえば1歳までの累積接種率には2年の、2歳までの累積接種率には1年の時間差が生じている可能性がある。第2に、本調査は年齢別麻疹感受性者率を明らかにできるものではない点である。すなわち、ワクチン接種前に麻疹に罹患したため予防接種を受けなかったという小児はワクチン未接種者として計算され、ワクチン接種後に十分な免疫が獲得できなかった者であってもワクチン接種済者として算定されるからである。年齢別感受性者率は、年齢別抗体保有率として、本調査とは別に調査する必要がある。

このような限界はあるが、この調査の簡便性は特筆すべき特徴である。この調査は標本調査であり、今回の調査では全国の3,368市区町村のうち1,854自治体は調査対象になっていない。調査対象となった自治体のうち702の市町村では標本数は1、つまり、満3歳児の中のわずか一人だけの報告で調査は終了する。また、年度の終了を待つことなく結果を得ることが出来る。今回の調査に要した期間は約2カ月であった。また、本法により麻疹ワクチンばかりでなく、他のワクチンについて同時に調査を行うことも可能である。

## 各市区町村における麻疹ワクチン累積接種率調査(中間報告)

厚生労働省新興・再興感染症研究事業

「成人麻疹の実態把握と今後の麻疹対策の方向性に関する研究」班

主任研究者 高山直秀 (東京都立駒込病院小児科)

研究協力者 崎山 弘 (崎山小児科)

### はじめに

現在、各地区ごとに、あるいは経年的に比較検討ができる予防接種率のデータはほとんどない。何故なら、予防接種率の定義が明確になっておらず、予防接種率の算定方法が統一されていないからである。現在、一般に予防接種率は、「(被接種者数/接種対象者)×100」で算定されているが、分母である接種対象者の把握の仕方が様々であるばかりでなく、分子の被接種者の求め方も一様ではない。すなわち、算定数式は同一であるが、内容的には異なっているため、算出された数字を年度ごとに、あるいは地域ごとに比較することは困難である。さらに、この算定方式から、生後1歳や2歳と言った特定の年齢における予防接種率を知ることは不可能である。

日本では、麻疹生ワクチンの導入以降、麻疹患者発生数は徐々に減少しているが、現在もおお、1歳児を中心として年間10万人から20万人の麻疹患者が発生していると推定されている。この麻疹流行を阻止し、麻疹患者発生数を減少させるためには、1歳に達したならできるだけ早期に麻疹ワクチン接種を受けること、そして接種率をできるだけ高率にすることが勧められている。しかし、従来の予防接種率算定法では1歳児や2歳児における接種率が不明であり、予防接種担当者が懸命にワクチン接種に努力しても、それによって特定年齢での予防接種率が向上したか否か、またどの程度向上したかを知ることはできなかった。

上記の問題点を解決するため、当研究班では麻疹ワクチン接種率を、以下に定義を示す年齢別ワクチン累積接種率(以下累積接種率)および年齢別ワクチン接種完了率(以下完了率)で算定・評価することを提案し、全国の保健所に調査を依頼した。また、累積接種率および接種完了率は各保健所管内の市区町村ごとに算定する方針をとった。接種対象年齢人口が市区町村ごとに異なるので、その規模に応じて結果を求められるように調査方法には5種類の選択肢を用意した。

前例のない調査であったにもかかわらず、各地の保健所および市区町村において、調査を実施していただくことができた。ここに感謝の意を表するため、またより多くの関係者の方々に年齢別ワクチン累積接種率算定法を理解していただくために、これまで報告があった地域の中から代表的な麻疹ワクチン累積接種率曲線を紹介し、短評を加えた中間報告書をお送りする。

### <年齢別ワクチン累積接種率>

分母は「対象年齢人口」、分子は「対象年齢に達したときまでに接種を終了している者の人数」である。例えば、3歳のワクチン累積接種率は、調査対象地区の満3歳の人口を分母に、その中で満3歳の誕生日までに接種を終了している人数を分子として算出する。

### <年齢別ワクチン接種完了率>

分母は「対象年齢未満人口」、分子は「接種を既に受けている人数」である。  
例えば、3歳までの接種完了率は、調査対象地区の満3歳未満の人口(満0歳, 満1歳, 満2歳の人口の和)を分母に、その中ですでに接種を終了している人数を分子として算出する。

なお、麻疹ワクチンは通常満1歳から接種が開始されており、この場合0歳児はすべて未接種となるので、3歳までの接種完了率は最高でも66.7%であり、100%とはならないことに注意していただきたい。もし、麻疹ワクチン接種が生後9カ月から開始されていれば、最高値は75%となる。ちなみに、生後3ヵ月から接種が開始されるDPT1回目接種では、3歳までの接種完了率の最高値は91.7%となる。

## 1. 調査方法

平成14年2月、全国の保健所に麻疹ワクチンの累積接種率調査についての依頼状を郵送し、「協力可能」あるいは「手順書を見てから検討する」との回答があった保健所116カ所に調査手順書、調査票、累積接種率統計システムCD-ROMおよびマニュアルなどを郵送し、調査を依頼した。

### (1) 調査対象者と接種歴の確認

調査対象者の決定とその接種歴の確認方法については、各市区町村の人口規模、予防接種台帳の有無などの条件により、各自治体の担当者が以下に示す5種類の調査方法から適当と思われる方法を選択して実施することとした。

#### A. 集団健診で母子健康手帳を利用して調査する方法(標準的方法)

各市区町村で行われる3歳児健診の受診対象者のうち110人を無作為に選んで調査対象とし、健診時に母子健康手帳の予防接種欄から接種歴の有無を確認する方法である。健診対象者の決定が生年月日順に行われていること、健診実施前にあらかじめ調査対象者を決定しておくこと、調査対象者が健診を受けなかった場合は予防接種台帳で接種歴を確認すること、予防接種台帳でも確認できなかった時は電話調査などで追跡して調査を実施すること、追跡しても捕捉できなかった場合は未接種者として扱うことなどの条件で調査することとした。

#### B. 予防接種台帳を利用して調査する方法

各市区町村在住の満3歳児から無作為に110人を選び出して、予防接種台帳の記録をもとに調査することとした。

#### C. 集団の3歳児健診の会場でのみ調査する方法

各市区町村で実施する3歳児健診を受診した者について、母子健康手帳の記載をもとに調査を行なうこととした。この調査方法では、健診未受診者が調査対象から外れるので、健診受診率が低いと誤差が大きくなる。このことを承知の上で実施する調査方法である。

#### D. 郵送、あるいは電話での調査

各市区町村で無作為抽出した110人の満3歳児について、電話調査あるいは郵送調査で接種歴の有無を確認する方法である。

#### E. 全数調査

市区町村人口が小さい場合、あるいは、予防接種台帳が完備しており満3歳児の接種歴がすべて把握できる場合に在住の満3歳児全員について接種歴を調査する方法である。

麻疹ワクチン接種率調査に加えて、各調査対象地区の人口などの背景についても併せてアンケート調査を行った。

## (2)集計方法

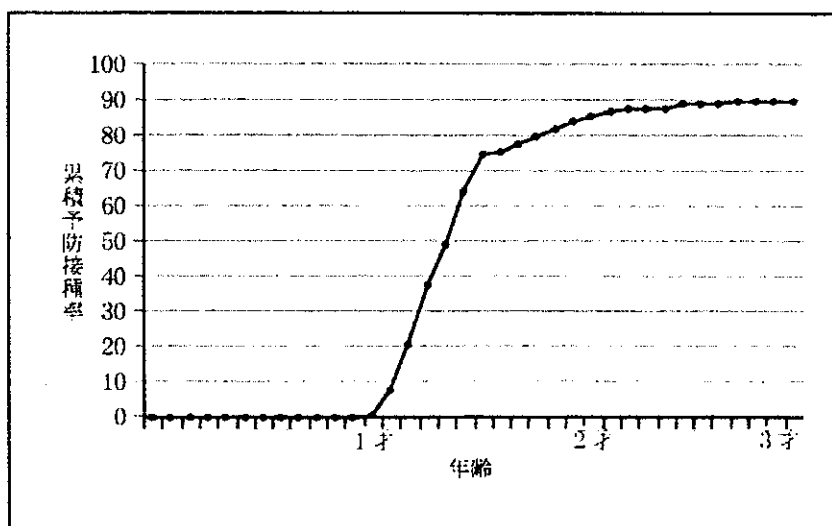
各市区町村毎に配布した累積接種率統計システムに調査対象者のワクチン接種歴を入力する。本システムでは、「生年月日とワクチン接種日」あるいは「ワクチン接種月齢」のいずれかを選んで入力し、調査対象者すべてのデータ入力終了すれば自動的に生後36ヵ月までのワクチン累積接種率曲線が図示され、接種完了率が算出されるように設定されている。

## 2, 調査結果

平成14年10月29日までに、全国58市区町村から回答を得た。調査方法としては、複数の調査方法を実施したところもあったが、予防接種台帳を利用した市区町村が24カ所、集団健診を利用した市区町村が22カ所(予防接種台帳との重複が3カ所)、全数調査を実施したところが15カ所で、郵送・電話のみで調査を行なったところはなかった。

これまで報告があった地域の中から代表的な麻疹ワクチン累積接種率曲線を紹介する。すべての調査結果は平成14年度末に報告する予定である。

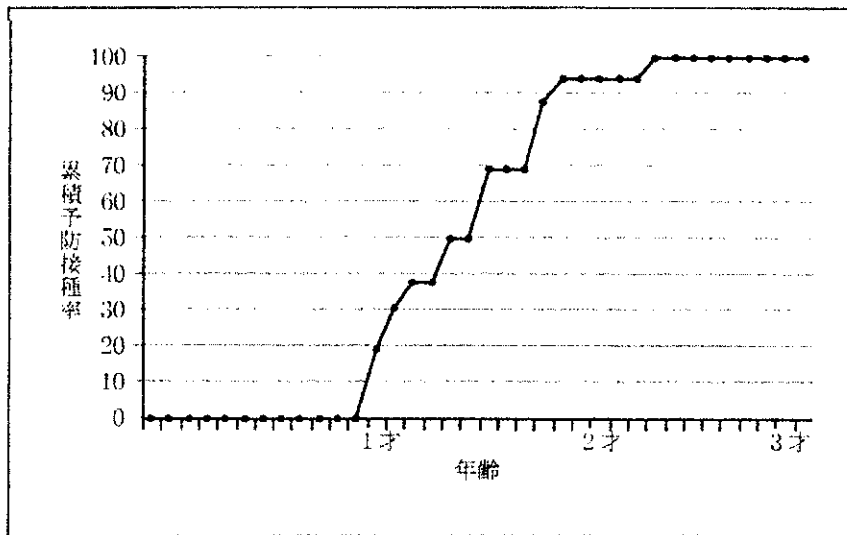
### A市 (調査対象者:291人)



A市は総人口が28,150人、満3歳児人口が276人の規模の市である(前年度調査結果)。A市では調査時点で満3歳児の全数調査を実施した。

満3歳で90%の累積接種率を達成している。満3歳までの接種完了率は47.8%で、満3歳未満の約二人に一人は麻疹の予防接種が終了していることを示している。

B村 (調査対象者:16人)

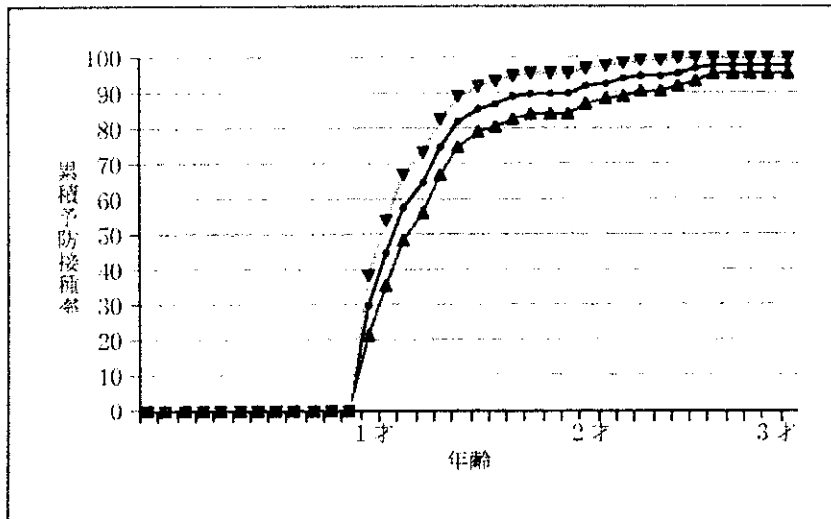


B村は、人口が2,255人で満3歳児人口が14人である。調査時点での全数調査を実施した。人口が少ない場合は全数調査が比較的容易に実施できる。

満3歳までの接種完了率は52.5%と算出できるが、一人の動向が数字に与える影響が大きいため、数値よりも個人個人の接種状況を直接把握

して対応することに意味があると言える。

C市 (調査対象者:110人)



C市は総人口が163,558人、満3歳児人口が1,608人の規模の市である。

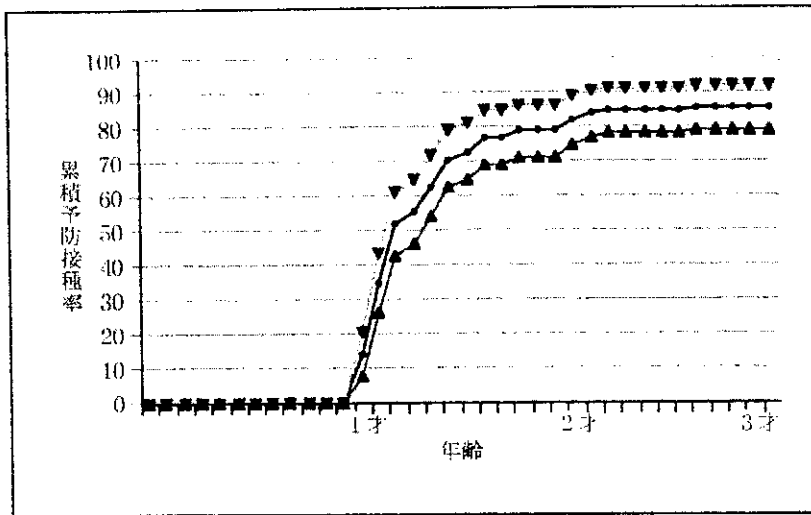
C市では、3歳児健診の受診者のデータのみを利用して市全体の接種率を推計する方法(方法C)を実施した。市の3歳児健診は集団健診で行なっており、健診受診率は95%と報告されている。健診受診率が90%を越えていれば、健診未受診者の接種

率が健診受診者の約半分程度と仮定しても、全体の接種率の推計に与える影響は小さいと考えられる。

満3歳までの接種完了率は53.1%と高く、0歳児を含めて少なくとも満3歳未満児の二人に一人は麻疹の予防接種を終えている状況が把握できる。累積接種率曲線からみても、1歳3ヶ月で累積接種率が50%を越えている。早い時期での接種が行われていることがわかる。

なお、図中3本の曲線は累積接種率(●)とその95%信頼上限(▼)と下限(▲)を示す曲線である。

D市（調査対象者:110人）



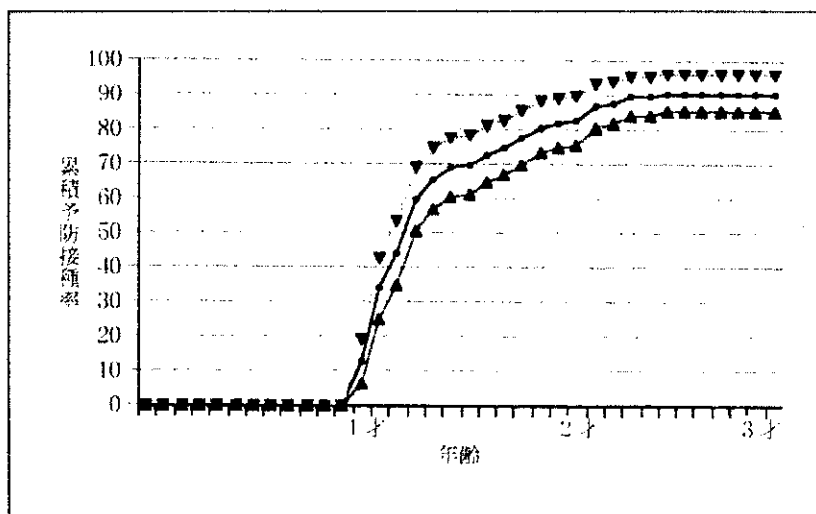
D市は総人口が608,457人、満3歳児人口が6,234人の規模の市である。

D市の3歳児健診は集団で3歳6ヶ月健診として行われているが、その受診率は86.5%と90%を下回っている。この場合、健診受診者のみのデータで累積接種率を求めると健診未受診者の動向が把握できないために、推計値に与える誤差が無視できない。一方、予防

接種台帳を利用すれば、より正確な値が推計できる。また、満3歳児人口のすべてを入力すれば、真の値が得られるが、6千人を越えるデータを入力することは現実的ではない。

今回の調査では、予防接種台帳からの無作為抽出による110人のデータで推計を行なった。入力するデータの数を増やせば、推計の幅を小さくすることも可能である。満3歳までの接種完了率は44.4%であった。累積接種率曲線から見ると、1歳6カ月過ぎに曲線の立ち上がりが鈍っている様子が伺えるので、1歳6カ月健診での接種推奨が効を奏する可能性が大きい。

E市（調査対象者:110人）

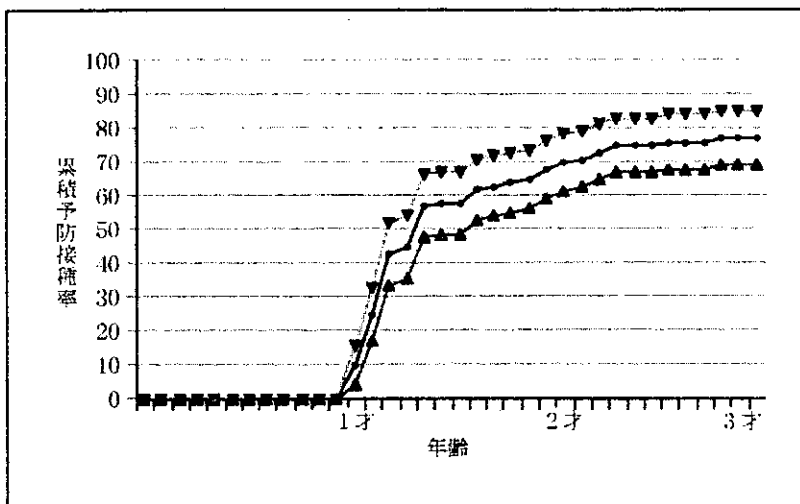


E市は総人口が475,892人、満3歳児人口は5,444人である。

調査方法はA方式、つまり、3歳児健診で母子健康手帳からデータを集め、健診未受診者については予防接種台帳などで調査を行なった。E市の3歳児健診は集団健診で受診率は91.7%である。健診未受診者について予防接種台帳などで補

正すれば、健診受診者のみの値よりも真の値に近い推計が可能になる。満3歳の接種完了率は45.9%であった。

F市（調査対象者:110人）



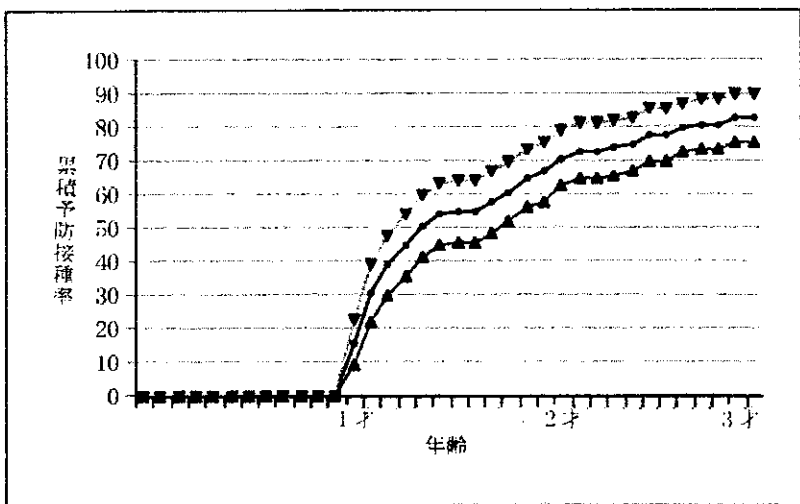
F市は人口191,106人、満3歳児人口は2,211人の規模の市である。

3歳児健診は集団で行われており、健診の受診率は95%である。健診を利用した調査も可能と思われるが、今回は予防接種台帳をもとにした調査が実施された。

累積接種率曲線は、満1歳から比較的良く立ち上がっているが、1歳6カ月以降の伸びが悪く、満3歳児での

累積接種率は70%台に留まっている。満3歳までの接種完了率は36.5%であり、3歳未満人口の6割以上が未接種という状況が推定され、流行の阻止には不十分な状況と思われる。

G市（調査対象:110人）



G市は人口82,533人、満3歳児人口は831人の規模の市である。

3歳児健診は集団健診でその受診率は91.6%、健診会場で母子手帳から接種歴データを確認し、健診未受診者についても捕捉する方法で調査を実施した。

満3歳までの累積接種率は80%を越える状況であるが、累積接種率曲線の立ち

上がりが悪く、累積接種率が50%を越えると予想される時点(95%信頼区間の下限が50%を越える時点)は1歳9カ月と良好ではない。接種完了率は36.9%であった。

3. まとめ

調査協力をいただいた地区では概ね適切に調査が実施された。手順の誤りや方法の問い合わせはほとんどなく、CD-ROMに収めて配布した累積接種率統計システムも各市区町村で活用していただけたので、調査方法自体は十分理解されたものと推察された。

各市区町村毎に適切な方法を選んで年齢別麻疹ワクチン累積接種率を調査することによって、各市区町村における麻疹ワクチンの接種率が従来よりも正確に把握できた。今回は郵送・電話調査が1件もなかったが、これは手間と予算がかかることなので当然の結果とも思われる。しか

し、人口規模が大きく、集団健診が行われておらず、予防接種台帳が作成されていない地区では郵送・電話調査が必要になる。その具体的な調査方法については今後の検討が必要と思われる。

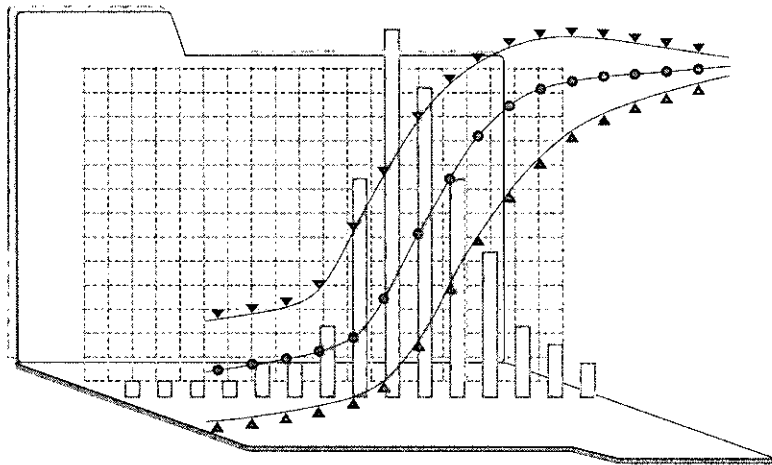
調査を実施していただいた市区町村全体の麻疹ワクチン累積接種率は、ほぼ日本の平均的な状況に近いと推測されるが、一部の市町村を除き、麻疹ワクチン累積接種率はまだ十分といえるレベルに達していないと言わざるを得ない。最近の麻疹患者の年齢分布をみると、満1歳前後の年齢層に相対的に多くの患者が発生していることから、当研究班では麻疹ワクチン累積接種率を生後18ヵ月で80%、24ヵ月で90%にまで高めることができれば、麻疹の流行を阻止できると推測している。今回の調査では、一部の地域を除いて、まだ上記の累積接種率に達していないことが判明した。各自治体の方々には、今後も麻疹ワクチン累積接種率曲線を利用して、接種率向上に関する地域ごとの問題点を検討しつつ、上記の累積接種率目標が達成されるように努力していただければ幸いである。



# 予防接種管理統計システム

Ver.1.0

## ユーザーズマニュアル



---

## はじめに

予防接種管理統計システム(以降、本システムと呼ぶ)は、予防接種法に定める各種予防接種について、接種者の生年月日、接種日等の接種状況データを収集し、統計情報を提供するものです。

本システムでは、接種者情報の管理を始め、入力したデータによるグラフ作成、一覧作成を容易に行うことができます。また、各種予防接種における感染症の発症状況を収集し、予防接種状況と比較・対比することで、予防接種における種々の対策を講じる為の基礎資料を提供します。

### 本製品のパッケージ内容

- 「予防接種管理統計システム」 CD-ROM 1枚
- ユーザーズマニュアル(インストール編)
- ユーザーズマニュアル(操作編)

### 本書の構成

本書は本システムを使用するためのインストール方法・操作方法について、以下の構成で解説します。

#### インストール編

- システムのインストールとアンインストール 第1章
- データソースの設定 第2章

#### 操作編

- システムの起動と終了 第3章
  - システムでの共通の操作 第4章
  - メニュー画面の操作 第5章
  - メイン画面の操作 第6章
  - 接種者データを検索して一覧表示する 第7章
  - 接種者データを新規に登録する 第8章
  - 接種者データを修正する 第9章
  - 接種者データを削除する 第10章
  - 接種者データの詳細を参照する 第11章
  - 接種者データをファイルから取り込む 第12章
  - 表示方法を変更する 第13章
  - 一覧データを Excel 文書にする 第14章
-

---

• 一覧データからグラフを作成する	第15章
• 接種者データを印刷する	第16章
• マスタ情報のメンテナンスを行う	第17章
• システムの全体図	第18章
• 注意点	第19章
• エラーメッセージ一覧	第20章
• 接種対象期間、接種推奨期間一覧	第21章

## 商標

Microsoft Windows 2000 Professional/XP  
Microsoft Excel/Word/Access 2000/2002  
Acrobat Reader

マイクロソフト社  
マイクロソフト社  
Adobe 社

---

---

# 目次

## インストール編

1 システムのインストールとアンインストール.....	5
1.1 動作環境.....	5
1.2 インストール.....	5
1.3 アンインストール.....	9
2 データソースの設定.....	12

## 操作編

3 システムの起動と終了.....	17
3.1 システムの起動.....	17
3.2 システムの終了.....	18
3.3 電子マニュアル.....	19
4 システムでの共通の操作.....	20
5 メニュー画面の操作.....	21
5.1 メニュー画面ボタンの説明.....	21
5.2 操作説明画面の説明.....	23
6 メイン画面の操作.....	24
6.1 接種者データ一覧表の概要.....	24
6.2 メイン画面ボタンの説明.....	27
7 接種者データを検索して一覧表示する.....	30
7.1 検索条件の入力方法の概要.....	30
7.1.1 個人情報の入力.....	31
7.1.2 予防接種状況の入力.....	35
7.2 検索画面ボタンの説明.....	39
8 接種者データを新規に登録する.....	42
8.1 各項目の入力方法の概要.....	42
8.1.1 個人情報の入力.....	43
8.1.2 予防接種状況の入力.....	46
8.2 新規登録画面ボタンの説明.....	51
9 接種者データを修正する.....	54
10 接種者データを削除する.....	56
11 接種者データの詳細を参照する.....	58
12 接種者データをファイルから取り込む.....	59
12.1 作成例・Microsoft Excel で一括入力ファイルを作成する場合.....	60
12.2 ファイル取込操作.....	60
12.2.1 取込ファイルの種類を選択する.....	60
12.2.2 予防接種の種類数を指定する.....	61
12.2.3 取り込む予防接種名を指定する.....	62
12.2.4 取り込むファイル名を指定する.....	63
12.2.5 ファイルの内容を確認後、ファイル取込を実行する.....	65
12.2.6 ファイル取込実行結果.....	65
12.3 取り込めるファイルの形式.....	66
13 表示方法を変更する.....	71
13.1 画面表示設定.....	72
13.2 一覧表示設定.....	73
14 一覧データを Excel 文書にする.....	75
15 一覧データからグラフを作成する.....	76
16 接種者データを印刷する.....	79
16.1 印刷フォーム一覧の説明.....	79

---

---

16.2	印刷画面ボタンの説明 .....	79
16.3	印刷フォームのメンテナンス .....	81
16.4	印刷フォームの編集方法 .....	84
16.5	印刷時の制限事項 .....	87
17	マスタ情報のメンテナンスを行う .....	89
17.1	メンテナンス画面ボタンの説明.....	89
17.2	小学校マスタ情報のメンテナンス.....	91
17.3	中学校マスタ情報のメンテナンス.....	92
17.4	保健所マスタ情報のメンテナンス.....	93
17.5	保健センターマスタ情報のメンテナンス.....	93
17.6	医療機関マスタ情報のメンテナンス.....	95
17.7	医師マスタ情報のメンテナンス.....	96
17.8	ユーザーマスタ情報のメンテナンス.....	97
18	システムの全体図.....	99
19	注意点.....	100
20	エラーメッセージ一覧 .....	101
21	接種対象期間、接種推奨期間一覧（平成 14 年 3 月現在） .....	117

---

## インストール編

### 1 システムのインストールとアンインストール

#### 1.1 動作環境

本システムを利用するには、以下の環境が必要です。

OS	Microsoft Windows 2000 Professional/Xp
ディスプレイ	解像度 800×600 以上
表計算ソフト	Microsoft Excel 2000/2002/Xp
文書ファイル(印刷フォーム)	Microsoft Word 2000/2002/Xp
データベース	Microsoft Access 2000/2002/Xp

#### 1.2 インストール

本システムを使用するためには、ご使用のパソコンのハードディスクに「予防接種管理統計システム」をインストールする必要があります。インストールを行うと、「予防接種管理統計システム」、「マニュアル(インストール編)」、および、「マニュアル(操作編)」がスタートメニューのプログラムに組み込まれます。

本書では、パソコンの OS は Windows 2000 を対象にして説明しています。

**[注意]** Administrator でログインしてインストールを行ってください。

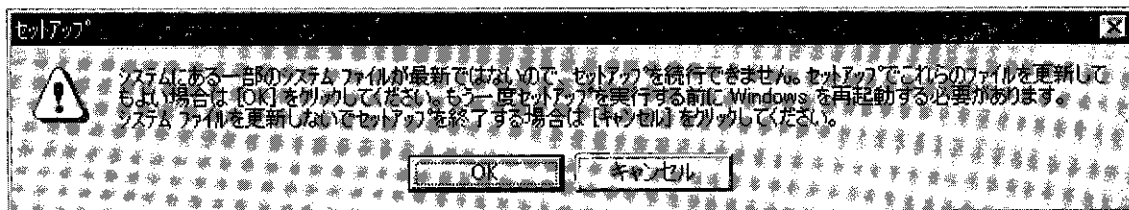
- (1) CD-ROMをパソコンにセットします。
- (2) 起動しない場合は、CD-ROM内の「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動してください。



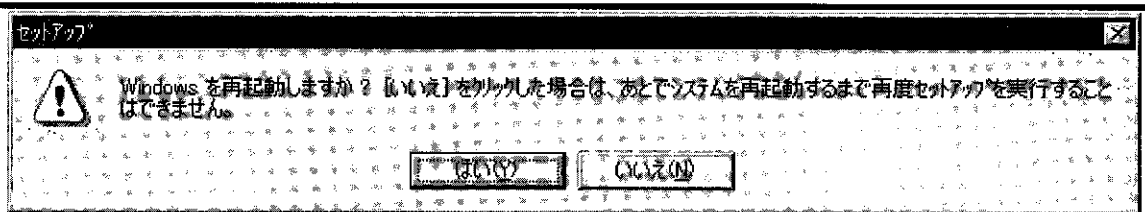
アイコンをダブルクリック  
すると起動します

[システムファイルの更新確認メッセージ]

インストールが始まると、システムファイルの更新確認メッセージが表示される場合があります。セットアップを継続する場合は[OK]を選択してください。

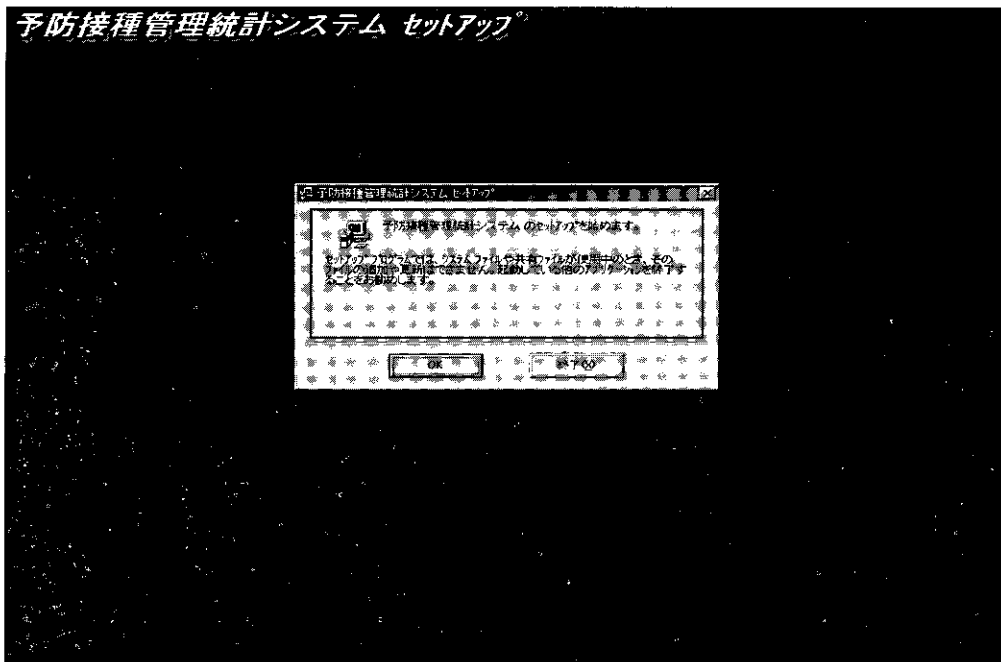


セットアップを継続する場合、Windows の再起動が必要となります。以下の確認メッセージが表示されます。すぐに再起動を行いセットアップを実行する場合は[はい(Y)]を選択してください。



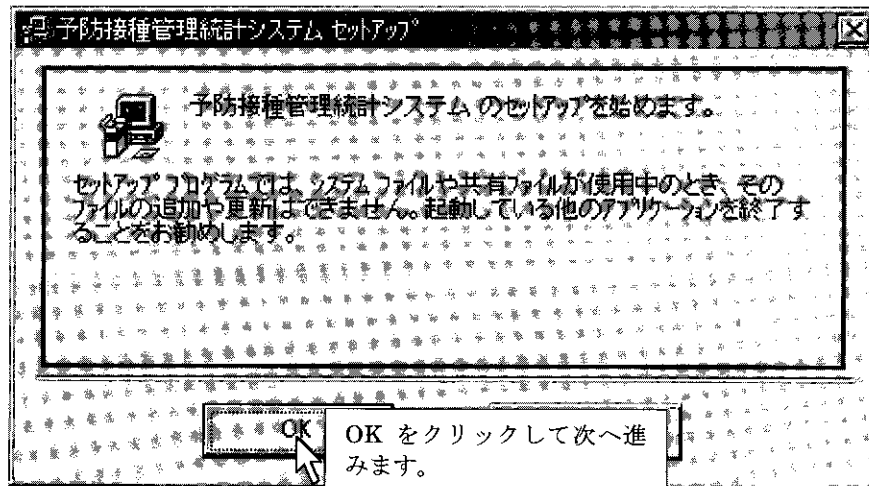
Windows が再起動した後、再度CD-ROMから「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動し、セットアップを行ってください。

[セットアップ開始画面]



(1) インストール開始前の確認

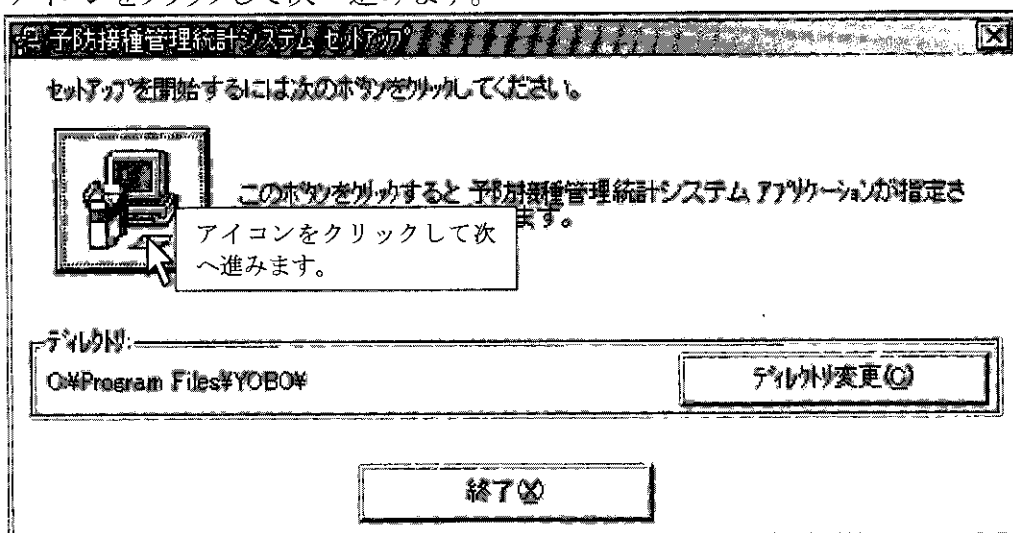
他のアプリケーションが起動していないことを確認してください。準備ができれば、[OK]を押して次に進みます。



(2) セットアップの開始

セットアップを開始します。標準の設定では「C:¥¥Program Files¥YOBO」フォルダの中に作成されます。通常はそのまま構いません。インストールフォルダを

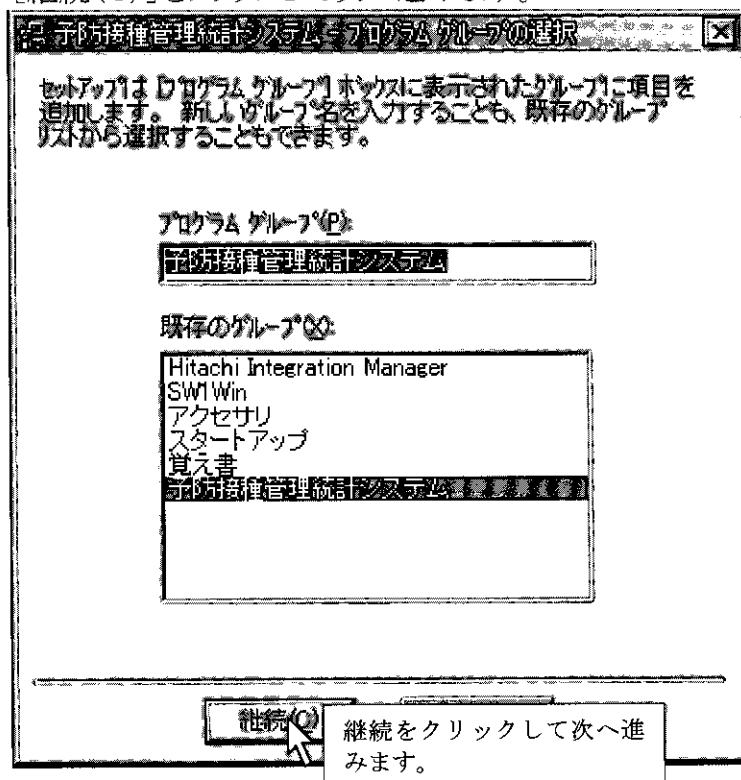
指定したい場合は、[ディレクトリ変更(C)]ボタンで変更することができます。  
アイコンをクリックして次へ進みます。



### (3) プログラムグループの選択

スタートメニューの「プログラム」から起動する際のフォルダ名や、プログラムグループを指定したい場合に設定します。標準では「プログラム」内に「YOBO」というファイルが作られます。通常はそのままで構いません。

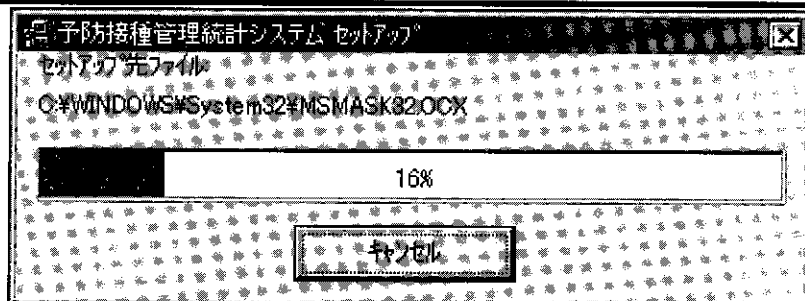
[継続(C)]をクリックして次へ進みます。



### (4) パソコンへのインストール開始

インストール作業が始まると、ファイルの転送状況を示すグラフを表示します。

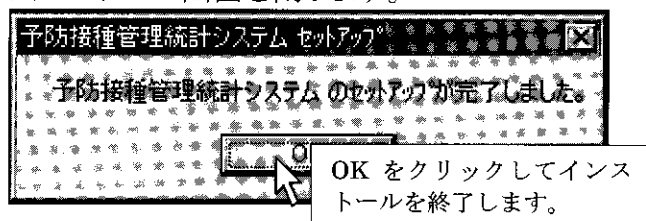




インストール中に「C:\WINNT\system32\msado25.tlb」の登録中にエラーが発生しました」と表示される場合があります。この場合は「無視」をクリックしインストールを先に進めて下さい。

(5) インストールの完了

インストールが終了すると、「セットアップ完了」画面を表示します。[OK]を押してインストール画面を閉じます。

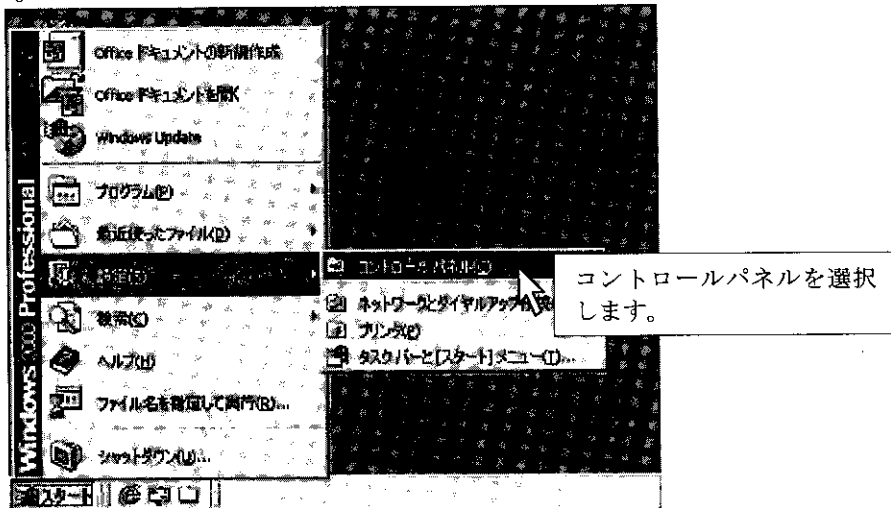


### 1.3 アンインストール

予防接種管理統計システムは、Windows の「アプリケーションの追加・削除」機能を使って、ハードディスクからプログラムを削除することができます。ここでは、その方法を簡単に説明します。

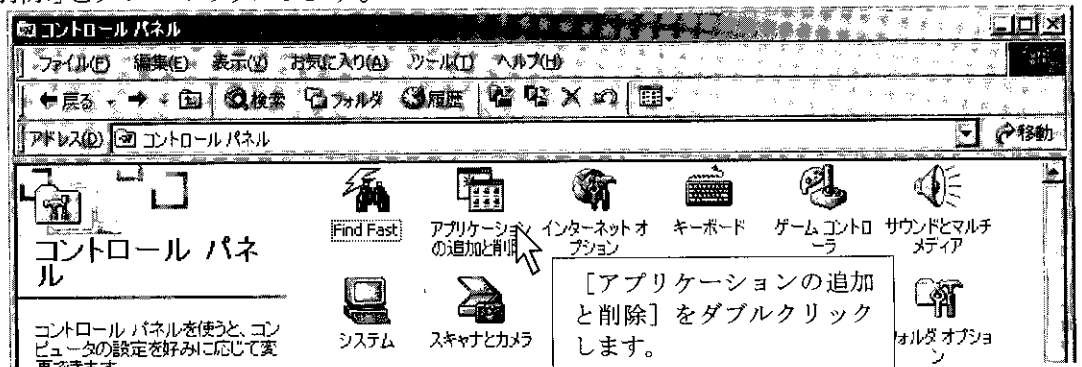
#### (1) [コントロールパネル]の選択

Windows のスタートボタンを押して、[設定]→[コントロールパネル]を選択します。



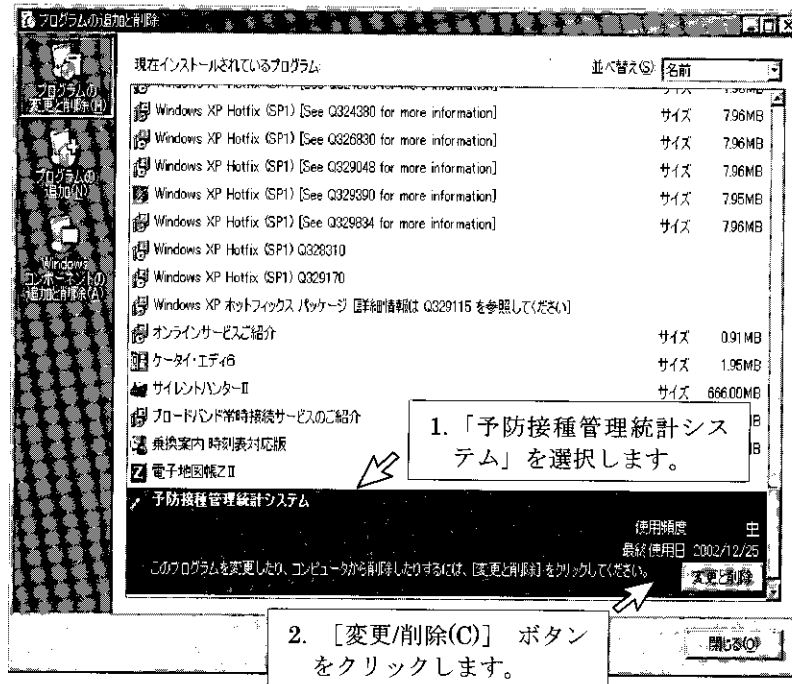
#### (2) 「アプリケーションの追加と削除」の実行

「コントロールパネル」画面が開きますので、その中の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



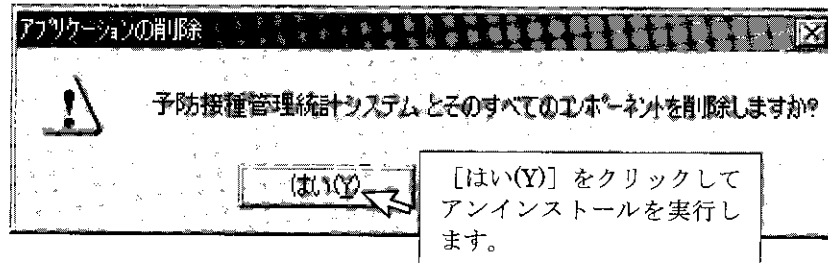
#### (3) 予防接種管理統計システムの削除

「アプリケーションの追加と削除」が開きますので、アプリケーションソフトの一覧から「予防接種管理統計システム」を選択し[変更/削除]ボタンを押します。



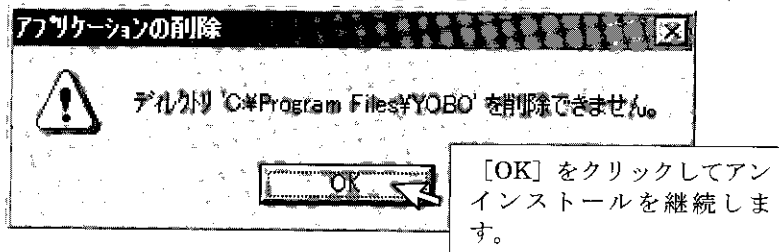
#### (4) 削除の確認とアンインストールの実行

「アプリケーションの削除」確認ダイアログが表示され、[はい(Y)]を押すとアンインストールが実行されます。



削除の実行中、「ディレクトリ' C:\Program Files\YOBO 'を削除できません」というメッセージが表示される場合があります。これは、アンインストールでは削除されないフォルダを示しています。

フォルダのパスを確認の上、[OK]を押してアンインストールを継続してください。



#### (5) アンインストールの終了

アンインストールが終了したら、「予防接種管理統計システム」がソフトウェア一覧に表示されていないことを確認してください。確認したら[OK]を押して画面を閉じます。

---

(6) 未削除のフォルダの削除

(3)で削除されなかったフォルダには、システムのグラフ作成機能を使った際に作成されたエクセルのブック、印刷機能で作成された印刷フォームファイル、差込データファイルなどが入っています。必要な場合は移動して保存し、不必要な場合はフォルダごと削除してください。

以上でアンインストールが完了します。